

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

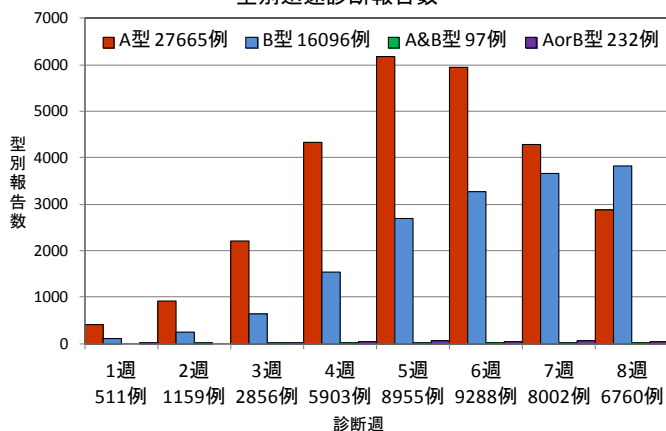
2016年8週の県全体の定点当たり報告数は、7週の39.37から減少し33.02となった。依然として報告数が多い状態が継続しており、注意が必要である。

保健所別では、16保健所全ての保健所管内で減少し、松戸(44.16)、香取(41.83)、印旛(40.46)、君津(36.38)、市原(34.64)、海匝(34.57)、千葉市(34.36)が多かった。

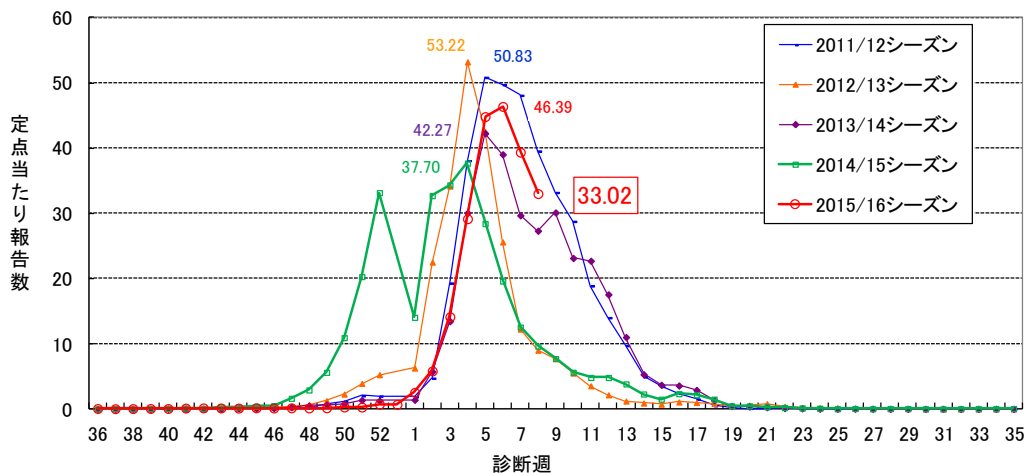
2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳34.6%、0～4歳18.2%、10～14歳15.8%が多い。

2016年8週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、6,760例中A型2,882例(42.6%)、B型3,813例(56.4%)、A and B型20例(0.3%)、A or B型45例(0.7%)で、7週と比較するとB型は増加し、A型は減少した。2015/16シーズン合計では、44,090例中A型27,665例(62.7%)、B型16,096例(36.5%)、A and B型97例(0.2%)、A or B型232例(0.5%)であった。

2015/16シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告数



千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

